

事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン（試案）（平成15年7月16日）

## 正 誤 表（ 1 ）

No.	ページ	行、項等	誤（修正前）	正（修正後）
1	2-30	(4) 排出係数	(生産時/CO <sub>2</sub> の排出係数) 0.012 kg CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup>	(生産時/CO <sub>2</sub> の排出係数) 0.000095 kg CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup> (9.5×10 <sup>-5</sup> )
2	2-30	(4) 排出係数	(生産時/CH <sub>4</sub> の排出係数) 1.38 kg CH <sub>4</sub> /Nm <sup>3</sup>	(生産時/CH <sub>4</sub> の排出係数) 0.00275 kg CH <sub>4</sub> /Nm <sup>3</sup>
3	2-74	別表1 2.2.6 天然ガスの生産/ 処理	(生産時/CO <sub>2</sub> の排出係数) 0.012 kg CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup>	(生産時/CO <sub>2</sub> の排出係数) 0.000095 kg CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup>
4	2-74	別表1 2.2.6 天然ガスの生産/ 処理	(生産時/CH <sub>4</sub> の排出係数) 1.38 kg CH <sub>4</sub> /Nm <sup>3</sup>	(生産時/CH <sub>4</sub> の排出係数) 0.00275 kg CH <sub>4</sub> /Nm <sup>3</sup>

以上

事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン（試案）（平成15年7月30日）

## 正 誤 表（ 2 ）

No.	ページ	行、項等	誤（修正前）	正（修正後）
5	2-19	(3) 算定式	(単位発熱量の単位 2箇所) GJ/(kg,l,m <sup>3</sup> )	(単位発熱量の単位 2箇所) MJ/(kg,l,m <sup>3</sup> )
6	2-19	(3) 算定式	(排出係数の単位) kgCH <sub>4</sub> /GJ kgN <sub>2</sub> O/GJ	(排出係数の単位) kgCH <sub>4</sub> /MJ kgN <sub>2</sub> O/MJ
7	2-19	(4)対象となる燃料の種類、単位発熱量及び排出係数	(一般炭、練炭又は豆炭の排出係数) kgCH <sub>4</sub> /kg kgN <sub>2</sub> O/kg	(一般炭、練炭又は豆炭の排出係数) kgCH <sub>4</sub> /MJ kgN <sub>2</sub> O/MJ
8	2-19	(4)対象となる燃料の種類、単位発熱量及び排出係数	(灯油の排出係数) kgCH <sub>4</sub> /l kgN <sub>2</sub> O/l	(灯油の排出係数) kgCH <sub>4</sub> /MJ kgN <sub>2</sub> O/MJ
9	2-19	(4)対象となる燃料の種類、単位発熱量及び排出係数	(都市ガス、液化石油ガスの排出係数) kgCH <sub>4</sub> /Nm <sup>3</sup> kgN <sub>2</sub> O/Nm <sup>3</sup>	(都市ガス、液化石油ガスの排出係数) kgCH <sub>4</sub> /MJ kgN <sub>2</sub> O/MJ
10	2-29	(3) 算定式	(点検時のCH <sub>4</sub> の漏出量の算定式) ×排出係数(kgCO <sub>2</sub> /井数/年)	(点検時のCH <sub>4</sub> の漏出量の算定式) ×排出係数(kgCH <sub>4</sub> /井数/年)
11	2-52	(4)対象となる産業廃棄物の種類及び排出係数	(下水汚泥のCH <sub>4</sub> の排出係数) なし(網掛け)	(下水汚泥のCH <sub>4</sub> の排出係数) 0.0097kgCH <sub>4</sub> /t
12	2-53	(3) 算定式	(算定式の解説文) 排出係数を乗じた量(トリフルオロメタン(HFC-23)発生量)から、トリフルオロメタンの処理量を減ずる。	(算定式の解説文) 排出係数を乗じる。これにより、トリフルオロメタン(HFC-23)排出量を算定する。
13	2-53	(3) 算定式	(算定式) HFC-23の生産量(kg)×排出係数 (kgHFC-23/kgHCFC-22) - HFC-23の処理量(kg)	(算定式) HCFC-22の生産量(kg)×排出係数 (kgHFC-23/kgHCFC-22)
14	2-53	(4) 排出係数	(排出係数表下部の注) なし	(排出係数表下部の注) 注：上記の排出係数は、HFC-23が処理されている実態を踏まえた全国平均の数値であり、生産のみに伴う排出係数(処理が行われていない場合は0.017kgHFC-23/kgHCFC-22となる。
15	2-56	(4) 排出係数	(排出係数の単位) kg排出量/kg生産量	(排出係数の単位) kg排出量/kg封入量
16	2-62	(4) 排出係数	(排出係数の対象ガス) SF <sub>6</sub>	(排出係数の対象ガス) HFC
17	2-63	(4) 排出係数	(排出係数の対象ガス) SF <sub>6</sub>	(排出係数の対象ガス) HFC
18	2-75	別表1 2.5.6 産業廃棄物の焼却	(下水汚泥の排出係数の単位) kgN <sub>2</sub> O/t	(下水汚泥の排出係数の単位) kgGHG/t
19	2-75	別表1 2.5.6 産業廃棄物の焼却	(下水汚泥のCH <sub>4</sub> 排出係数) なし(網掛け)	(下水汚泥のCH <sub>4</sub> 排出係数) 0.0097

以上

事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン（試案）（平成15年9月24日）

## 正 誤 表（ 3 ）

No.	ページ	行、項等	誤（修正前）	正（修正後）
1	2-12	(4) 対象となる燃料の種類、単位発熱量及び排出係数	(パルプ廃液の単位発熱量の単位) l 13.9MJ/l	(パルプ廃液の単位発熱量の単位) kg 13.9MJ/kg
2	2-34	(4) 排出係数	(No4の原料の種類) 液化天然ガス（LPG）	(No4の原料の種類) 液化石油ガス（LPG）

以上

## 正 誤 表（ 4 ）

No.	ページ	行、項等	誤（修正前）	正（修正後）
1	1-13	(4)活動の種類ごとの排出量の	(単位重量or体積当たりの炭素含有量) [ kgC/kg or l or m <sup>3</sup> ]	(単位重量or体積当たりの炭素含有量) [ kgC/kg or l or Nm <sup>3</sup> ]
2	1-13	(4)活動の種類ごとの排出量の	(単位重量or体積当たりの発熱量) [ MJ/kg or l or m <sup>3</sup> ]	(単位重量or体積当たりの発熱量) [ MJ/kg or l or Nm <sup>3</sup> ]
3	1-13	(4)活動の種類ごとの排出量の	(燃料使用量) [ kg or l or m <sup>3</sup> ] × (単位発熱量) [ MJ/kg or l or m <sup>3</sup> ]	(燃料使用量) [ kg or l or Nm <sup>3</sup> ] × (単位発熱量) [ MJ/kg or l or Nm <sup>3</sup> ]
4	2-4	(3)算定式	燃料使用量(kg,l,m <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/(kg,l,m <sup>3</sup> ))	燃料使用量(kg,l,Nm <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/(kg,l,Nm <sup>3</sup> ))
5	2-4	表2-2 一般的な燃料の種類と単位発熱量、排	都市ガス：41.1MJ/m <sup>3</sup>	都市ガス：41.1MJ/Nm <sup>3</sup>
6	2-12	(4)対象となる燃料の種類、単位発熱量及び排出係数	(パルプ廃液の単位発熱量の単位) l 13.9MJ/l	(パルプ廃液の単位発熱量の単位) kg 13.9MJ/kg
7	2-14	(3)算定式 (2箇所)	燃料使用量(kg,l,m <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/(kg,l,m <sup>3</sup> ))	燃料使用量(kg,l,Nm <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/(kg,l,Nm <sup>3</sup> ))
8	2-16	(3)算定式 (2箇所)	燃料使用量(kg,l,m <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/kg,l,m <sup>3</sup> )	燃料使用量(kg,l,Nm <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/kg,l,Nm <sup>3</sup> )
9	2-19	(3)算定式 (2箇所)	燃料使用量(kg,l,m <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/(kg,l,m <sup>3</sup> ))	燃料使用量(kg,l,Nm <sup>3</sup> )×単位発熱量(MJ/(kg,l,Nm <sup>3</sup> ))
10	2-34	(3)算定式	原料使用量(kg,l,m <sup>3</sup> )×排出係数(kg CO <sub>2</sub> /(kg,l,m <sup>3</sup> ))	原料使用量(kg,l,Nm <sup>3</sup> )×排出係数(kg CO <sub>2</sub> /(kg,l,Nm <sup>3</sup> ))
11	2-34	(4)排出係数	(No4の原料の種類) 液化天然ガス(LPG)	(No4の原料の種類) 液化石油ガス(LPG)
12	2-42	(1)活動の内容	CH <sub>4</sub> が発生する。	CH <sub>4</sub> が発生する。また、アンモニアの酸化反応による硝化過程からN <sub>2</sub> Oが生成される。
13	2-42	(2)対象温室効果ガ	CH <sub>4</sub> (メタン)	CH <sub>4</sub> (メタン)、N <sub>2</sub> O(一酸化二窒素)
14	2-42	(3)算定式	排出量(kg CH <sub>4</sub> ) = 牛の平均的な放牧数(頭)×排出係数(kg CH <sub>4</sub> /頭)×放牧期間(年)	排出量(kg CH <sub>4</sub> ) = 牛の平均的な放牧数(頭)×排出係数(kg CH <sub>4</sub> /頭/年)×放牧期間(年)
15	2-42	(3)算定式		(追加) 排出量(kg N <sub>2</sub> O) = 牛の平均的な放牧数(頭)×排出係数(kg N <sub>2</sub> O/頭/年)×放牧期間(年)

事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン（試案）（平成17年7月28日）

## 正 誤 表（ 6 ）

No.	ページ	行、項等	誤（修正前）	正（修正後）
1	2-5	（参考）その他の燃料の種類と単位発熱量、	No27．その他石油製品 単位：l 単位発熱量：MJ/l	No27．その他石油製品 単位：kg 単位発熱量：MJ/kg

以 上

事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン（試案）（平成16年5月11日）

## 正 誤 表（ 5 ）

No.	ページ	行、項等	誤（修正前）	正（修正後）
1	2-19	（４）対象となる燃料の種類、単位発熱量及び排出係数	No 5 . 液化石油ガス(LPG) 単位：Nm3 単位発熱量：MJ/Nm3	No 5 . 液化石油ガス(LPG) 単位：kg 単位発熱量：MJ/kg

以 上